



[事業類型] 一般型

株式会社尾崎製作所

事業テーマ

ピニオン加工のリードタイム短縮を目指した 電氣的同期加工の開発

[対象類型] ものづくり技術



●本事業への取組みの経緯・目的

当社は1916年の創業以来、「ダイヤルゲージ」を中心とした各種精密測定器の製造及び販売を手掛けております。「高精度と品質の良さ」が当社製品の誇りであり、ブランド名である「ピーコック」は、ダイヤルゲージの代名詞として通用するほど広くユーザーの皆様にご信頼いただいております。

当社の中心商品である「ダイヤルゲージ」は、ギアやピニオンといった精密部品を組み上げて製造しております。内部に搭載される部品はかなりの精度が求められています。

今般、中小企業の生産性向上が求められている中、当社は平成24年度ものづくり補助金にて、当社の生産性向上および高品質な部品製造のため、新たな部品の加工技術開発に取り組みました。



事業実施の成果

本試作事業は当社の基幹製品である「ダイヤルゲージ」に利用される部品である「ピニオン」の新しい加工手法の開発に取り組みました。カム式自動旋盤による「ブランク加工」と、機械同期式ホブ盤による「歯切り加工」を、シチズンマシナリー社製小型精密CNC自動旋盤「シンコムL12-VII型」を導入することにより、1台の機械での同期加工の実現を目指して実施されました。

自動旋盤の導入後、プログラムの設定や工具の選定等を経て、加工寸法のチェックおよび補正を実施するなど、加工法の確認・調整を行いました。その結果、ピニオンの加工リードタイムを173秒から130秒に短縮化することに成功し、25%の製造効率向上が実現しました。

今後の展望

生産性の向上および歩留まりの向上により、ピニオンの安定的な生産体制が構築できました。今後については、海外市場の開拓に力を入れていきたいと考えています。現在、日本国内における当社のダイヤルゲージシェアは33%程度であるのに対して、海外では6%程度と出遅れている状況です。海外市場に対して、競争優位性のある製品を投入することで、業績を拡大したいと考えています。

今後さらにお客様のご要望にお応えできるよう、高品質と特色のある製品開発に力を注ぎ、世界のトップレベルの製品を目指していく所存です。

私たちピーコックはお客様との永いおつきあいを通じて進化しつづけます。



社長から一言



代表取締役 深堀 和夫

当社は「お客様に喜ばれる製品を提供し、ピーコックファンに応えよう」を品質方針として品質の向上、生産性の向上を目標に掲げております。

その一環として、このたび重要精密部品としてのピニオンギヤを切削加工する国産のCNC自動旋盤（専用機）を、ものづくり補助金制度を活用して導入させて頂きました。

これまで使用していた海外製（スイス）専用機から国産のCNC自動旋盤（専用機）を導入することにより、初期投資も軽減でき、製造効率向上、操作性向上、メンテナンス性向上に大きな成果が得られました。

今後も、導入した機械を有効に活用し、お客様に喜ばれる製品を提供出来るように努力して参ります。

企業データ

主な事業・業種	製造業/計測器具製造
得意分野	—
所在地	本社：〒174-0071 東京都板橋区常盤台 1-63-11 事業実施場所：〒293-0036 千葉県富津市千種新田684
TEL	本社：03-3966-1101 事業実施場所：0439-65-1155
FAX	本社：03-3969-1276 事業実施場所：0439-65-3612
設立	昭和14年1月
代表者	代表取締役 深堀 和夫
従業員数	86名
資本金	1億円
売上高	9億9000万円（平成31年度）
URL	http://www.peacockozaki.jp/
Email	kidokoro@peacockozaki.jp